



埼玉県立浦和西高等学校
Urawanishi High School

発行日 令和元年7月25日
学校通信 ~ 西高は今 ~
発行責任者 校長 杉林 正敏
HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

「レジリエンス」を身に付ける

校長 杉林 正敏

「レジリエンス」という言葉を最近よく耳にします。「折れない心」「逆境で打ち勝つ力」という意味で使われることが多いようです。

辛いこと、苦しいことがあった時に私たちは心が折れそうになります。そのような逆境下にあった時、「レジリエンス」が重要になってきます。

「レジリエンス」をさらに別の言い方で説明すると、「困難な状況の中でも、しなやかに適応して生き延びる力」となるでしょうか。状況にしなやかに適応して、生き延びる方策を探し求める力、これこそが逆境で打ち勝つ力なのだと思います。

アメリカの経営大学院（MBA：経営学修士を取得するための大学院）を受験するには、課題エッセイを提出しなければならぬと聞いていますが、実はこの課題エッセイが合否を決める重要な要素となるようです。そして、この課題エッセイのテーマによく出題されるのが、「失敗体験」なのだそうです。

どんな失敗をしたか、その体験から何を学んだかについて、具体的に書くことが求められるようですが、なぜ失敗した体験が問われるのでしょうか。

それはおそらく、失敗・困難・逆境から立ち直ってきた過程がリーダー候補こととしての大切な「経緯値」と判断されているからではないかと思います。

翻って、浦和西高校では「国際社会に貢献できる人材を育成」する学校を標榜しています。したがって西高生には、将来世界で活躍できるように、様々なことにチャレンジしてほしいと思っています。そして、失敗しても立ち直るといった経験を通して、21世紀を生き延びる「レジリエンス」を身につけてほしいと考えています。

そのため、本校では様々な教育的「仕掛け」を設け、今後とも全力で生徒たちを支援してまいります。

1 筑波大学・東京理科大学を見学（PTA）



6月26日（水）、PTA・後援会主催「大学見学バスツアー」を実施しました。午前は筑波大学（写真）、午後は東京理科大学・野田キャンパスを訪問し、大学概要説明を受け、キャンパスを見学しました。移動のバス内でも「親子で乗り切る大学入試」（講演）、「大学入試の基礎知識」（クイズ）など有意義な時間を過ごしました。

2 出前授業（in 大原中学校）を実施



7月5日（金）、さいたま市立大原中学校で、本校教員7名が3年生7クラスを対象に出前授業を行いました。

○国語：神経衰弱 書名ストーリー

○国語：辞書を使ってゲームをしよう

○社会：身近な地域の歴史

○数学：数列

○数学：指数・対数

○理科：高校の生物基礎「代謝—光合成—」を学ぶ

○英語：高校1年「コミュニケーション英語」

どのクラスも、真剣かつ意欲的な態度で授業に取り組む姿が見られました。

3 女子サッカー部・5名が県選抜選手に選出



7月6日(土)・7日(日)、茨城県の鹿島ハイスポーツプラザにおいて、関東女子U-18トレセン大会が行われました。本校女子サッカー部の中から、以下の5名が埼玉県U-18高校選抜に選出され、出場しました。

青木美空(3年、GK)・石川真愛(2年、DF)
伊藤瑞希(1年、FW)・篠崎陽子(1年、FW)
荻野純菜(1年、DF)

4 留学生による「帰国スピーチ」

3学年在籍の留学生トーマス君が約1年間の留学を終え、チェコに帰国することになり、7月17日(水)4時限目終了後、全校生徒の前で「帰国



スピーチ」を行いました。日本語によるスピーチはとても素晴らしいものでした。今後、また日本に来て勉強したいという希望があり、スピーチの最後も「またね!」という言葉で締めくくりました。

5 「高校生外交官」としてアメリカへ

本校3年生丸山あかねさんが、「AIG 高校生外交官プログラム」に選ばれ、7月18日(木)アメリカ(ワシントンDC、ニューヨーク)に出発しました。



【6/29 埼玉新聞の記事】

このプログラムは、グローバルリーダーの育成を目的とし、全国800名の応募者から選抜された40名(埼玉県からは2名)の高校生が8月5日(月)の帰国まで、プリンストン大学での寮生活などを体験し、様々な研修を受けて学び、国際交流を深めるというものです。

6 第1学期「球技大会」実施



7月18日(木)・19日(金)・22日(月)の3日間、1学期「球技大会」を行いました。種目は男女とも、サッカー、バスケットボール、ドッジボールでした。連日クラス対抗での熱い戦いが繰り広げられました。男女計6種目の内5種目で3年生5クラスが優勝しました。

7 令和元年度 第1学期終業式



7月24日(水)、第1学期「終業式」を行いました。

校長講話では、夏休み(39日)の計936時間を「密度濃く過ごす」ことについて話をしました。続いて、伝達表彰(ハンドボール部、女子サッカー部、女子バスケットボール部、弓道部男子、硬筆展各賞)、球技大会の閉会式・表彰、「オーストラリア研修」(7月31日~8月10日)に出発する生徒2名の壮行会を行いました。

最後に全校生徒による校歌斉唱で閉式しました。

